

練習問題 1

1) \mathbf{R}^4 のベクトル $\vec{a}_1, \vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4$ を

$$\vec{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_3 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_4 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}$$

と定義し、これらの列ベクトルを並べて4次の正方行列 A を作る。このとき次の問に答えよ。

- 行列 A を階段行列に変形し、 A の階数を求めよ。
- $\vec{a}_1, \vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4$ は一次独立かどうか判定せよ。もし、一次従属ならば、これらのベクトルの間の一次関係式を求めよ。

2) \mathbf{R}^4 のベクトル

$$\vec{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_2 = \begin{pmatrix} 6 \\ -1 \\ -1 \\ 4 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_3 = \begin{pmatrix} 3 \\ -4 \\ -7 \\ 7 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_4 = \begin{pmatrix} 3 \\ 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_5 = \begin{pmatrix} 1 \\ 3 \\ 5 \\ -3 \end{pmatrix}$$

のうちで一次独立なものは最大何個あるか、理由を付して答よ。また（これらのベクトルからなる）その個数の一次独立なベクトルの組を一例挙げよ。

3) \mathbf{R}^4 のベクトル $\vec{a}_1, \vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4$ を

$$\vec{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_2 = \begin{pmatrix} 2 \\ -3 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_3 = \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ -4 \\ -2 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_4 = \begin{pmatrix} 2 \\ -3 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}$$

と定義し、これらの列ベクトルを並べて4次の正方行列 A を作る。このとき行列 A は基本変形によって下のように変形される。

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & -1 & 2 \\ -1 & -3 & 1 & -3 \\ 1 & -1 & -4 & 2 \\ 2 & 1 & -2 & 1 \end{pmatrix} \rightarrow \cdots \rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & -1 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & -1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

このとき次の問に答えよ。

- 行列 A の階数を求めよ。
- 方程式 $A \begin{pmatrix} c_1 \\ c_2 \\ c_3 \\ c_4 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ の解をすべて求めよ。
- $\vec{a}_1, \vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4$ は一次独立かどうか判定せよ。もし、一次従属ならば、これらのベクトルの間の一次関係式を求めよ。
- $\vec{a}_1, \vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4$ で生成される部分空間 $\langle \vec{a}_1, \vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4 \rangle$ の基底を（1つ）求めよ。

4] a を定数とし、 \mathbf{R}^4 の 4 つのベクトル

$$\vec{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \\ -a \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -a \\ 1 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_3 = \begin{pmatrix} 1 \\ a \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_4 = \begin{pmatrix} a \\ 1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}$$

で生成される部分空間 $(\vec{a}_1, \vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4)$ を V_a で表す。 V_a の次元が 3 以下になるような a の値を求めよ。また、そのような a の値それぞれについて V_a の基底を一組ずつ求めよ。

5] 行列 $A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 3 \\ -2 & -1 & -4 \\ 1 & -1 & -1 \end{pmatrix}$ とし、 $\vec{f}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 1 \end{pmatrix}$, $\vec{f}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ -1 \end{pmatrix}$, $\vec{f}_3 = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}$ とおく。また、

- 3 つのベクトルの組 $(\vec{f}_1, \vec{f}_2, \vec{f}_3)$ は 3 次元数ベクトル空間 \mathbf{R}^3 の基底であることを示せ。
- 3 つのベクトル $\vec{f}_1, \vec{f}_2, \vec{f}_3$ を並べてできる行列を P とする。 P^{-1} を求めよ。
- \vec{x} を $A\vec{x}$ に移す 1 次変換を T とする。 T の基底 $(\vec{f}_1, \vec{f}_2, \vec{f}_3)$ に関する表現行列 B を求めよ。
- $B = P^{-1}AP$ であることを確かめよ。

6] 平面内の直線 $y = 2x$ に関する対称移動を表現する行列を求めよ。

7] 3 次元空間の平面 $x - 2y + 2z = 0$ に関する対称変換 T を表現する行列を求めたい。

- $x - 2y + 2z = 0$ で表わされる \mathbf{R}^3 の部分空間 W の基底を一つ求めよ。
- a) で得られた基底に $x - 2y + 2z = 0$ の法線ベクトルとをあわせた三つのベクトルからなる組は \mathbf{R}^3 の基底となることを示せ。
- b) で得られた \mathbf{R}^3 の基底に関する T の表現行列を求めよ。
- T の標準基底に関する表現行列を求めよ。